

V40b

## VERA, 位置天文観測への道

三好 真 (国立天文台 ; VLBI 懇談会 ; 宇宙電波懇談会)

VERA の最終目標は高精度の銀河位置天文学にある。その達成は容易ではない。1) 電波天文の専門家は位置天文に動機、興味がない。2) 位置天文、銀河の専門家は干渉計、VLBI の特性、とデータに不慣れ。3) 予算状況は厳しく、観測は不十分な装置、運営で始まる。従って、最初から位置天文で勝負すると破綻する。

また日本の「地上 VLBI 統一計画」としての VERA には、1) 国内ミリ波 VLBI ネットワーク (現 JNET の拡張、AGN の天体物理) 2) 測地、地球回転 VLBI 装置 (旧緯度観測所の夢) 3) 次期スペース VLBI の日本地上観測網 4) 地方大学での (他分野にまけない) 強力な天文学の拠点を作るなどの複数の目標がある。(河野 '95 WG 最終報告 ; 三好, '95 秋学会 ; 海部, '96 V 懇シンポ)。現状から出発し、それぞれの目標を達成しながら最終目標に至るための道、「素早く立ち上げ、手なれた天体物理的 VLBI や単一鏡観測で初期成果をだし、十分な予算を確保する。そのために新奇な開発はしない。VERA の特徴 (位相を観測量にできる初めての VLBI) を活かした他の追従できない観測 (絶対位置のわかる VLBI), サイエンスを開拓し...」という具体的方策を示す。